



PRESS RELEASE

ものづくりの伝統と革新に挑む高岡に、約160名のものづくり関係者が中国から来訪！

家電爆買いブームの火付け人・呉曉波氏や、 中国の若手職人・デザイナーが高岡の若手職人と初の交流

—2018年10月15日（月）・16日（火）—

本年（2018年）、日中両国にとって記念すべき日中平和友好条約締結40周年を迎えるにあたり、2018年10月11日（木）～17日

（水）の期間、「第1回日中若手職人交流事業」が日本で開催されます。中国の中間層の意識がここ数年で大きく変化する中、中国の製造業のあり方も変わってきており、日本の質の高い製品や手仕事の技に学び、また将来のコラボレーションの可能性を探りたいと企画された事業です（高岡市はこの事業を後援しています）。

この事業を主催するのは、中国の中小企業を束ねる「中国中小商業企業協会」と家電爆買いブームの火付け人で経済ジャーナリストの呉曉波（ウー・シャオポー）氏主宰の「呉曉波チャンネル」で、期間中、中国からは若手プロダクトデザイナー、職人、企業経営者、大手メディアなど約200名の視察団が来日します。

視察団は東京でフォーラム・展示を行うほか、国内3箇所で視察を行います。高岡がその視察先の一つとして選ばれました（他、東京、京都・大阪）。プロデューサーの呉曉波氏はじめ、約200名の参加者の大半である約160名の方々が東京でのフォーラムの後に高岡を訪れ、10月15日（月）・16日（火）の日程にて高岡の伝統産業に関する企業・工房・会館等の視察を行うほか、地元高岡の若手職人の皆さんとディスカッション・交流を行います。

让日本看到

NEW
CRAFTSMAN

中国
匠

<高岡市での事業実施内容>

【日程】平成30年10月15日（月）～16日（火）

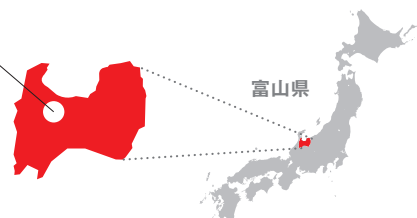
【内容】高岡の伝統産業に関する企業・工房・会館等の視察（複数グループに分かれて）、日中のものづくり関係者によるディスカッション、交流交歓会 など（詳細は次頁参照）

【参加者】呉曉波氏ほか中国の著名ジャーナリスト・大手メディア関係者 30名程度
中国の若手職人・プロダクトデザイナー・企業経営者等 130名程度



高岡のものづくりと加賀前田家

富山県高岡市は人口約175,000人の県西部の中核都市。加賀前田家二代当主・前田利長公が開町し、7人の腕利きの鋳物師やさまざまな職人を招き、ものづくりを奨励しました。今では高岡銅器・高岡漆器・越中福岡の菅笠が国の伝統的工芸品となっており、伝統の技を活かしたものづくりが今も盛んに行われています。



■事業全体概要

日中両国の若手職人の「相互交流と相互理解の促進、協力、交流と成功の実現」をテーマに、日本と中国の新しい世代の職人のイノベーションと起業家精神に焦点を当て、共同で両国のマーケットだけでなく、第3国市場をも探求していくことを目的として、東京でのフォーラムと展示、交流、日本国内への視察を行います。日本と中国の若手職人達の革新的な活動やビジョンを双方で共有し、新しい世代の交流や理解の促進を強化していくことにより、その活動をグローバルに展開していく、その「最初の繋がり (Initial Link) 」の実現を目指しています。

【事業名称】 第1回日中若手職人交流事業

【日程・内容】 2018年10月11日（木）～17日（水）

- ・日中若手職人交流フォーラム（10月13日（土）東京）
- ・＜中国匠、日本へ＞展示会（10月11日（木）～12日（金）東京）
- ・国内視察と日中若手職人交流（東京、京都・大阪、高岡で視察・交流）

【プロデュース】 呉曉波（経済ジャーナリスト）

【主催】 中国中小商業企業協会、呉曉波チャンネル

【後援】 中華人民共和国駐日本国大使館、高岡市、富山県

■中国中小商業企業協会について

中国国務院の承認を得て1992年に設立された旧「中国集団商業協会」が、正式に「中国中小商業企業協会」に改称されました。この協会は国務省の国有資産監督管理委員会が率いており、商務省と工信部に指導されており、独立した法人地位を持ち、全国的なクロスインダストリー、クロスオーナーシップの非営利団体です。

中国中小商業企業協会は、中小企業向けの商品製造業、貿易流通業、商業サービス業で構成され、民事省に登録されている唯一の業界団体です。現在、会員数は、間接的に何十万社の中小企業にサービスを提供しています。基本的機能としては、サービス、権利、自己規律、協調機能を備えており、政府と企業の橋渡しとなり、関係する政府部門、加盟企業から高く評価されています。



中国中小商业企业协会

China Association for Small & Medium Commercial Enterprises

■呉曉波について

1968年生まれ、上海復旦大学卒、新華社で13年間記者を務める。ハーバード大学訪問学者。2004年に金融出版社を設立し、百以上の中国有名企業の伝記を出版。現在、複合メディア企業「呉曉波チャンネル」の会長を務めています。有名な中国の経済ジャーナリストであり、企業の歴史に関する研究で知られています。彼の作品は《チャイナデイリー・アジアウィークリー》のトップ10作品に二度選出されました。彼の作品の中でも、《大敗局》(2001年)と《激蕩三十年》(2008年)の売上部数は各200万部を超え、中国では企業史研究の作品の中でベストセラーとなっています。

また、中国最大フォロワー数を持つ個人金融メディア設立者であり、WeChatの公式アカウント「呉曉波チャンネル」の会員数は300万人、Weiboのフォロワーは400万人を超えています。中国における今後の製造業の在り方という趣旨で2015年に執筆した《日本に行き、ウォシュレットを買う》というオンラインメディア掲載記事の影響を受け、中国人が日本で炊飯器やウォシュレット等の電化製品を爆買いするという一大ムーブメントが巻き起こりました。



<別添資料-2> 高岡市内での視察スケジュール

■10月15日（月）

時間（予定）	訪問先	目的・内容
9:00～10:20	富山県総合デザインセンター/ 高岡市デザイン・工芸センター	・富山県・高岡市によるデザイン振興や伝統工芸の 保存・継承・発展等に関する取り組みを視察
10:35～13:15	能作	・デザイン性の高い商品や医療器具等新ジャンルに も挑戦する鋳物メーカーの視察 ・昼休憩（自社商品である錫の器を用いたお弁当）
13:50～15:10	高岡御車山会館	・国の重要有形・無形民俗文化財であり、ユネスコ 無形文化遺産にも登録された「高岡御車山祭」の歴 史文化や実際に祭りで使用される山車から高岡の伝 統工芸技術の粋を学ぶ
15:25～16:25	四津川製作所	・海外出展を積極的に行い、海外のアワードも多数 受賞している銅器製造元のショールームを見学
16:25～17:10	金屋町	・高岡鋳物発祥の地であり、国の重要伝統的建造物 群保存地区として町家が立ち並ぶ石畳の通りを散策
17:45～18:00	ホテルニューオータニ高岡（瑞 竜の間） 【呉暁波氏、高岡市長】	・当事業のプロデューサーである呉暁波氏、高岡市 長への囲み取材 （高岡市政記者クラブ幹事社による代表質問）
18:00～19:00	ホテルニューオータニ高岡（瑞 竜の間）	・中国の若手職人・プロダクトデザイナー、高岡の 若手職人などものづくり関係者による討議

■10月16日（火）

時間（予定）	訪問先	目的・内容
9:00～10:15	モメントムファクトリー・Orii	・高岡銅器の伝統的着色技術を応用し、新たな商品 開発も行う着色工房を視察
10:25～11:30	漆器くにもと	・伝統的な高岡漆器から店オリジナルのクラフトま で、様々なmade in 高岡に出会えるお店を見学

※視察は複数グループに分かれて行われますが、上記はそのうちの1つ、中国職人グループの取材スケ
ジュールです。各視察先にて、中国職人への個別取材が可能です（通訳は常時2名帯同）。

※呉暁波氏は中国職人グループとは別行動となりますが、上記の通り15日（月）17:45～18:00に高岡
市長同席のもと囲み取材を実施する予定です。

※視察時間は現場の状況により前後する可能性がありますのでご了承ください。

<本件に関する報道関係者のお問合せ先>

有限会社エピファニーワークス（富山県高岡市 プロモーション担当）

Tel. 0766-54-6210

担当：荻布（おぎの）、林口

E-mail : info@epiphanyworks.net yuko@epiphanyworks.net